

【南生実町ホーム】令和7年8月23日（土）地域連携推進会議を開催しました。

「地域連携推進会議」とは、福祉・医療・行政・地域住民などが連携し、地域での支援体制を強化するために開催される会議です。地域で暮らす障害者や高齢者などが安心して生活できる体制を整え、支援の質向上や課題の共有を行うことを目的としています。

■開催概要

日時：令和7年8月23日（土）13:00～16:00

会場：みらい工房南生実町ホーム・生実町ABホーム・矢作町ホーム（見学）

　　みらい工房おおぞら（会議）

■参加者

- ・福祉及び地域に知見のある方代表：1名
- ・福祉及び経営に知見のある方代表：2名
- ・保護者代表：4名（各ホームから1名ずつ）
- ・利用者代表：4名（各ホームから1名ずつ）
- ・グループホーム職員：司会進行1名、説明1名、カメラ1名、記録1名

■当日の主な内容

○13:15～15:00 各ホームの見学実施。

- ・南生実町ホーム（南生実町ホーム・生実町ABホーム・矢作町ホーム）の見学。
- ・グループホームの概要や、居室・設備の説明の他、利用者との交流。

○15:00～16:00 地域連携推進会議実施。

- ・地域連携推進会議の目的及び背景説明
- ・法人の歩みと各事業所の概要紹介
- ・福祉サービス全般の説明
- ・各グループホーム（南生実町・生実町A/B・矢作町・辰巳台）の紹介
- ・各グループホームの概要説明（定員・平均区分・重度障害者支援加算取得状況等）
- ・各グループホームの職員勤務体制の説明
- ・利用者の生活紹介（余暇支援・防災訓練、防災BCP訓練の報告等）
- ・経営状況報告（共同生活援助・短期入所の国保連請求に関して等）
- ・感染症BCPの説明
- ・リスクマネジメント報告（ヒヤリハット・事故報告・苦情報告等）
- ・地域行事への参加状況や地域貢献活動報告・AED設置状況の説明
- ・虐待防止・身体拘束適正化の取り組み
- ・職員教育・研修体制（セルフチェック・ストレスチェック等含む）

- ・個別支援計画とモニタリングの実施状況報告
- ・多部田町ホーム（仮）の開設及び、工事進捗状況の説明

■質疑応答・ご意見

各構成員の皆様からは、以下のようなご意見をいただきました。

- ・地域連携推進会議を通じてみらい工房のグループホームの詳細を知ることができた。
- ・災害時に、地域住民の方の協力や理解を得られるか不安。
- ・地域連携推進会議に利用者が参加する事で、利用者に負担が掛かることが懸念される。
地域連携推進会議は2部制にしたらどうか。
- ・普段見ることがない他ホームを見学できてよかったです。
- ・日中活動場所に出勤する際、以前は「ヘルプカード」があったと思うが、現在は持参していない状況がある。万が一の際に周囲から支援を受けられるよう、「ヘルプカード」を再開してほしい。

■おわりに

地域連携推進会議を通じて、地域の各機関がそれぞれの立場から利用者支援に取り組んでいることを改めて実感しました。グループホームとしても、日々の支援が地域での連携によって支えられていることを再認識しました。今後も、関係機関とのつながりを大切にし、安心して暮らせる地域づくりに貢献していきたいと感じました。

尚、会議の詳細につきましては、みらい工房南生実町ホームまでお問い合わせください。

